

水中に住む昆虫たち

(幼虫も含む)

ますますきれいな水です



ヘビトンボ
ミズカマキリ
ヒラドロムシ
オシマトビケラ
カワゲラ



スポーツ広場
河川敷は広いので、いろいろなスポーツができます。

⑥ 江島の河川敷 [河口より 22km]

増水すると水の下になる、堤防に囲まれた平らな土地・河川敷は、整地して運動広場として利用されたりしています。江島橋の下流には、大きな運動公園が造られています。河原の縁の浅瀬で生き物さがしをしましょう。石をひっくり返してみるといろいろな水生昆虫が見つかります。その種類で水の汚れがわかります。

⑤ 三上の河原 [河口より 15.5km]

流れのゆるやかな中流部では、あちこちに広い河原が見られます。河原の石は、上流の地質の便りを届けてくれます。河原の石を調べてみましょう。

石いろいろ

北の山から
領家片麻岩
花こう岩

設楽の山から (火山起源)
デイサイト(石英安山岩)
流紋岩

南の山から
緑色岩(緑色片岩)

石を分けてみよう！
色・形・もよう・かたさ・手ざわり

⑦ 牟呂松原頭首工 [河口より 25km]

明治時代に河口に開かれた神野新田に水を送る牟呂用水、豊川右岸の田をうるおす松原用水の取り入れ口です。堰の上流の海倉湖には、お膳やお椀を貸してくれるお姫様が住んでいたという伝説があります。

⑧ 桜淵公園 [河口より 29km]

堤防に守られてきた川は、この辺りから岸壁に挟まれるようになります。春には花見の人でにぎわう桜淵の豊川は、深い緑色の水をたたえてゆったりと流れています。赤い笠岩橋からは、しまもようの蜂の巣岩や緑がかった笠岩が見られます。

椀かせし

むかし、海倉湖の底には竜宮があって、お膳やお椀がいるときには、「何をいくつ」と書いた紙を湖の岩に置くと、その数だけ貸してくれるので便利だったそう。でもお椀をこわしたのに足りないまま返した人がいたので、貸してくれなくなっただけ。

川での注意

- *晴れた日に大人と一緒に！
- *運動靴で川に入る。はだしはやめよう！
- *増水した川には近づかない。流れの速い所に注意！

河岸の植物たち

桜淵公園の大木

コナラ
アベマキ
大木の林

河岸でよく見られる植物

エノキ
ケヤキ
ムクノキ
マダケ

河原の植物

エノキの枝にびっしりついたヤドリギ
ヤナギタデ
ツルヨシ
カワヤナギ

土手の草

アカツメクサ